

2019年11月26日（火）

日本フードシステム学会
会 員 各 位

日本フードシステム学会
企 画 委 員 会

2019年度 日本フードシステム学会 特別研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

標記の件につきまして、下記の通り企画いたしましたのでご案内申し上げます。つきましては、大学行事等でご多忙な時期と存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

1. 趣旨

日本フードシステム学会特別研究会は、フードシステムに関心のある研究者間の活発な議論を通じて、お互いの興味や知見を共有し、フードシステム研究に対する理解を深めることを目的としています。

今年度はケーススタディ（事例研究）に着目して、企業行動をテーマに3名の研究者に報告をいただきます。報告では市場構造に対する企業行動を取り上げますが、それ以外にも研究方法上の特徴や工夫、国内フードシステム研究における企業行動研究のフロンティアについてもご紹介いただきます。また、総合ディスカッションでは、コーディネーターとコメンテーターを交え、当該研究分野の現段階や今後取り組むべき課題、課題の解決に向けた計量研究分野との融合の可能性等について議論します。

2. 日時・場所

日時：2019年12月21日（土）13時～17時

場所：東京大学農学部 フードサイエンス棟2階 中島董一郎記念ホール

<https://www.a.u-tokyo.ac.jp/nakashima/>

3. プログラム（予定）

（1）解題（13時05分～13時25分）

コーディネーター：神代英昭（宇都宮大学）

テーマ：フードシステムにおける事例研究の意義と現段階

(2) 報告① (13時25分～14時15分)

報告者：菊地昌弥 (桃山学院大学) ・竹埜正敏 (富士通商株式会社)

テーマ：安定的な開発輸入に資する大手冷凍野菜開発輸入業者の指導機能

—休憩 (14:15～14:30) —

(3) 報告② (14時30分～15時20分)

報告者：船津 崇 (JA全中) ・菊地昌弥 (桃山学院大学)

テーマ：加工食品の輸出拡大に寄与する大手みそ製造企業の企業行動

(4) コメント (15時20分～15時50分)

コメンテーター：中嶋晋作 (明治大学)

—休憩 (15:50～16:00) —

(5) 総合ディスカッション (16時～17時)

パネラー：神代英昭・中嶋晋作・菊地昌弥・船津 崇・竹埜正敏

テーマ：フードシステムにおける事例研究の可能性—食品企業との共同研究や計量研究との融合など—

4. 参加資格と申込方法等

参加資格：日本フードシステム学会の会員、会員の推薦する学生、また当該テーマの研究にこれから取り組もうと考えている研究者

募集人数：25名

参加費：無料

申込方法：参加希望者は、12月15日（日）までに次の3点を記載した申し込みメールを (anakajim@meiji.ac.jp) までお送り下さい。

①所属機関

②氏名 (非会員の場合は推薦者名)

③特別研究会に関連する関心テーマ

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

日本フードシステム学会 企画委員会

担当：中嶋晋作 (明治大学農学部) E-mail : anakajim@meiji.ac.jp